

## MLP（学部間共通外国語）英会話春期集中講座が行われました。

3月4日から3月11日にかけて、本学厚生施設・清里セミナーハウスにて、英会話の集中講座が開講された。

この講座は、主にネイティブ・スピーカーを講師として、合宿形式・少人数クラスで、1週間にわたって英語を話す生活をする、というもので、短期間で集中的に英語のコミュニケーション能力を養うことを目的としている。コーディネータの法学部教授マクマサック、マイケル W.先生によると、今回で24回目の開講ということであり、講座の人気の高さから、その伝統ができあがったといえるだろう。



今回の参加者は58名。清里セミナーハウスは、八ヶ岳山麓の高原に位置し、静謐とした環境で、参加した学生は海外短期留学の雰囲気を楽しむことができた。

講座の内容は、午前中にレベル別のクラスに分かれて実践的な英会話を習い、午後は講師によるオプションクラス「Photo」「Drama」「Journalism」「Speech communication」「Study of Canada」に分

かれて活動する、というものである。

午前は、映画『ナイト・ミュージアム』のシナリオを中心に、実践的な英会話を行なうレベル別モーニングクラスであった。たとえば、学生がシナリオからクイズを考え、他の学生がそのクイズに答える、あるいは、グループディスカッションでプロブレム→ソリューション→エヴォリューションと発展的に話し合って発表するというものなどだった。また、ペアになって相手と話し合い、クラスの皆の前で相手の紹介をするという、シナリオにこだわらないモーニングクラスもあった。





食事の時間は、講師と学生が入り交じり、英語でコミュニケーションをとりながら食べる。こうした、授業以外の何気ない日常会話も、英語のスキルアップに役立っていた。

午後は、オプションクラスで、たとえば「Drama」では、少人数に分かれて演技のリハーサルを行ったり、あるいは「Photo」では、教室に写真スタジオ並みの暗幕や照明を設置し、学生がおもしろいポーズをするなどして撮影したり、「Speech communication」では、自作のストーリーを発表するなどしてしていた。



なかでも、「Photo」はプロのフォトジャーナリストに指導を受け、英語でコミュニケーションしながら、ときには教室を出てホールなどでも撮影し、いかに良い写真が撮れるか工夫していた。午後の活動は、最後に発表が設定されていて、参加者全員の前で自分たちの活動を紹介するため、楽しい発表にしようと、活気にあふれて活動した。



なぜ、この講座に参加したかについて学生に聞くと、「去年の講座がとても楽しく、たくさんの友だちができて、新しい友だちもできるといいなと思い、みんなで今年も参加した」、「英会話とともに Photo にも興味があった」、「先生方にまたお会いしたくて参加した」といったことを、上手な英語で話してくれた。

講座終了後のアンケートによると、ほとんどの学生の回答で「周囲のモチベーションの高さから、自らも努力した」とあり意識の高い学生が参加することでお互いに刺激しあったことが分かる。

また、本講座では起床時間から就寝前までの時間帯に「日本語禁止ルール」というものがあり、学生は自分の意見や気持ちを英語で



話さなければならなかった。そのルールにより、ボキャブラリーが増えたという回答が多い。「どうしても伝わらず日本語を使ってしまった」とか「お風呂では日本語で会話した」という回答もあったが、「もっと努力して英語のみで会話できるようになりたい」などと必ず向上心のある一文が添えられている。

学生は、日常会話を英語で行なうよう努力したが、そのことで短期留学の雰囲気を味わえた、という回答も多い。「合宿形式で、学生同士でも英語で話すのが良かった。常に『これは英語でどのように言えばいいのか』と考えた」、「毎日英語に触れることができたので耳が慣れて、また自分の意見を英語で話す技術が向上した」という回答があった。

友だち作りについては、『英語能力の向上』という共通の目的があったため、話すきっかけや話題が作りやすく、すぐに仲良くなれた」や「廊下や食堂で『hi!』と声をかけるだけで友だちになれる、とても良い雰囲気のセミナーだった」という回答があり、参加者がひとつの輪であったといえることを表している。

なかには、アンケートの回答まで英語で記入し、「Almost English Only」だった学生もあり、1週間英語でのコミュニケーションに大変集中したことを物語っている。



本講座の今後の展開としては、フォローアップとしてのOB会を設置することなどが挙げられる。単なる英会話教室にとどまらない本講座は、まだまだ発展する可能性があるだろう。